

広報

はちおうじの教育

4.15

2016(平成28年)
No.86

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

夢をもって未来へ



～全力でサポート～

紙に力強く書かれているのは、子どもたちがそれぞれ抱いている夢。子どもたちが夢をもって未来へ向かってはばたいていけるように、全力でサポートしていきます。

第五中学校で

ひとりで悩まないで!

保護者の皆さん

総合教育相談 ☎664-6949

小中学生の皆さん

包丁も電話相談 ☎664-3665

毎週月曜日～金曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分～午後5時

24時間
受付

東京都いじめ相談ホットライン

☎0120-53-8288

全国統一ダイヤル

24時間子供SOSダイヤル ☎0120-0-78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由実さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。



平成29年 八王子 100th 百年の彩りを 次の100年の輝きへ

夢

をもって未来へ はばたけるように

子どもたちが、夢をもって未来へはばたけるように、市では子ども一人ひとりの学びを支える取り組みを行っています。今号では、平成28年度教育予算に基づく取り組みとともに、学校や地域などで活躍する人たちを紹介し、問い合わせは学校教育政策課(☎620・7403、☎627・8811)へ。

生きた英語にふれて

市では、子どもたちが英語を学び、外国人と直接コミュニケーションを積極的にとる姿勢を身に付けられるように、英語教育の充実を図っています。平成28年度は、外国人と直接交流することを通して、英語や外国の生活・習慣に慣れ親しみ、理解を深める機会を増やそうと、英語を母国語とした外国人の指導助手「ALT(外国語学習指導助手)」を増員。一学級当たり

ALTとのコミュニケーションは、実践的なコミュニケーション能力の基礎を養います。自分が話した英語が相手に通じることで、英語に対する興味や関心が向上。自ら学ぶ意欲を高めます。松木小学校の今野美穂子先生は「子どものうちに生きた英語にふれることは効果が高い」と話します。

グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるために、小学校の英語教育も拡充していきます。



▲積極的に楽しくコミュニケーション(四谷中学校)



▲英語で質問しあって(松木小学校)

やる気が湧いてきます

外国人の先生に英語が伝わることで、子どもたちのやる気が湧いてきて、コミュニケーションが多くなり、楽しく自然に生きた英語を学ぶことができます。



松木小学校
今野美穂子先生

一人ひとりに寄り添って

特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が一人ひとりの課題や障害の特性に応じた指導を受けられるよう、市ではさまざまな支援を行っています。

特性に応じた指導を

心の支えに

これまで、通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする児童は、他校に設置された通級指導学級に通い、課題や障害の特性に応じた指導を受けていました。こうした児童が在籍校で指導を受けられるように、平成28年度から30年度までに全小学校へ「特別支援教室」を設置。指導教員が各小学校を巡回し、特別な指導を行います。児童や保護者の移動の負担が軽減され、特別な指導を受けやすくなります。また、巡回指導教員と在籍学級担任との連携が密になり、より充実した支援が期待されます。

市の有償ボランティアである学校サポーターは、学級担任の指導を支え、特別な支援を必要とする児童・生徒のいる学級を支援しています。相談相手として勉強のことや、友達のことなど、子どもが抱える悩みを共に考え、一人ひとりに寄り添いながら心の支えになることも担っています。

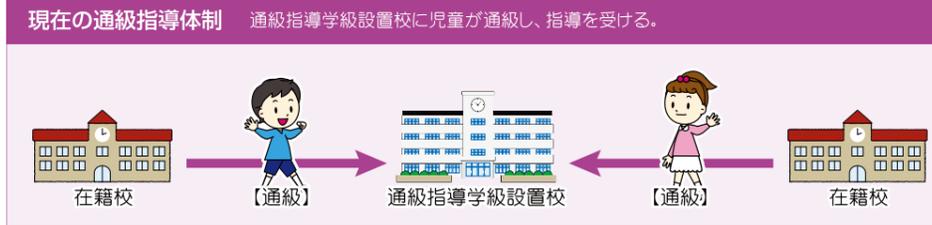
平成28年度は、学校サポーターの配置時間を拡大し、スキルアップのための講座や地域の支援者を育成するためのセミナーも開催。一人ひとりに合った支援をさらに充実していきます。

そのときに必要としている支援を

子どもの成長はとても早く、必要とする支援が日々変化していきます。子どもたち一人ひとりのことをよく観察し、そのときに必要としている支援をするよう心がけています。



学校サポーター
石井千春さん



▲特別支援教室のしくみ

よりきめ細かい指導に

巡回することで、子どもを取り巻く環境も知ることができるので、支援がしやすくなります。また、集団の中での適応状況に応じたきめ細かい指導が受けられるようになります。



巡回指導教員
鈴木百合恵先生



▲不安を解消して発言を後押し(第四小学校)



▲本を通して新しい世界にふれて(長房小学校)

本探して困ったら相談を

学校司書は、子どもたちや先生に活用してもらうことで力を発揮できます。授業で使いたい本や調べ学習の資料など、本探して困ったら、学校司書にご相談ください。



学校司書 橋爪ゆりさん

子どもの頃から読書習慣を身に付けることは、生涯にわたって学び続けるための基礎となります。学校図書館は、子どもたちにとって読書に親しめる最も身近な場所。学校図書館の充実に向け、平成28年度は学校司書を全小・中学校へ派遣します。

おすすめの本の紹介、本の展示の工夫など、学校図書館ボランティアとともに、子どもたちの読書活動が充実するように利用しやすい学校図書館の整備を進めています。松が谷中学校ほか3校を担当している学校司書の橋爪ゆりさんは「学校図書館で、本を通してたくさん新しい世界と出会ってほしい」と話します。

「なぜだろう」を大切に

コニカミノルタサイエンスドームのいいところは、見るだけではなく、体験できること。「なぜだろう」や「不思議だな」という気持ちを忘れずに身の回りのさまざまなことに興味をもってほしいです。



コニカミノルタサイエンスドーム職員 森融さん



▲見て、ふれて、想像を膨らませて

コニカミノルタサイエンスドーム(子ども科学館)は科学を見て、ふれて、体験することができ、たくさん不思議な科学の世界に出会える空間です。約38万個の星を映し出すプラネタリウムのほか、参加体験型の展示物が数多くあります。また、工作教室や科学実験など、さまざまなイベントも開かれています。

「時代の変化に合わせて、あらゆる年齢の子どもが宇宙や科学の楽しさを体験できるように施設にしたい」と思いを語ります。同館では、これからも子どもたちの好奇心や探究心を刺激し、創造力や夢が育まれる施設をめざしていきます。市制100周年を迎える平成29年度に向けて、魅力をさらに高めるために、体験型展示物やプラネタリウムなどをリニューアルし、周辺施設との一体整備も実施していきます。

豊かで楽しい時間を過ごして

授業を終えた子どもたちが真っ先に向かうのは、校庭に設けられた放課後子ども教室。地域の方が「おかしな笑い」と笑顔で迎えます。市では、地域の方やボランティアなど、さまざまな人たちの協力を得て、子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせる居場所を提

供しています。東浅川小学校の放課後子ども教室は、校庭や教室を活用して、週に5日間開催。縄跳びやフラフープなど、体を動かす遊びのほか、工作や竹馬、お手玉など、昔ながらの遊びを取り入れています。中でも将棋は人気があり、指導にあたる地域の

方に親しみをこめて「師匠」と呼ぶ子どもも。そのほか、親子で参加できる夏祭りでは、子どもから大人まで、一緒に盆踊りを楽しみます。運営にたずさわるPTAで安全管理員の森田真由美さんは「子どもたちにさまざまな体験や地域の大人たちとのふれ合いを通して、豊かで楽しい時間を過ごしてほしい」と話します。

平成28年度は、高尾山学園を除く全小学校69校での放課後子ども教室の実施をめざし、子どもたちが安全・安心に放課後の時間を過ごすことができる居場所づくりを進めていきます。

「オアシス」のような居場所に

安全・安心を第一に、保護者や地域の方々と連携して、子どもたちがほっとできる「オアシス」のような居場所づくりをめざしています。



放課後子ども教室安全管理員 森田真由美さん

子どもたちが巻き込まれる事件や事故は後をたたく、不審者による犯罪や交通事故から子どもたちを守ることに求められています。学校では、子どもたちが安全に安心して通学できるように、元警察官のスクールガードリーダーを中心に、学校安全ボランティアや教員などが連携して、登下校時の見守り活動を実施。毎日欠かさず子どもたちの安全を見守り、声かけを行っています。

清水小学校ほか6校で活動しているスクールガードリーダーの豊田義主さんは「地域ぐるみで子どもたちの成長を見守りながら、安全を守っていくことが大切」と話します。見守りのほかにも、通学路の安全点検や危険箇所の把握・改善など、子どもたちの安全が高まるよう日々活動をしています。市では、腕章やベストの支給など、学校安全ボランティアに対する支援を実施していくとともに、通学路における見守り活動を補完するために、小学校の通学路に防犯カメラの設置を進めています。また、犯罪抑止力をさらに強化するため、平成30年度までに全小・中学校の校門にも防犯カメラを順次設置していきます。

大切なのは地域の目

大切なのは地域の目で見守ること。通学時間など、子どもたちの安全のため、見守りをお願いします。防犯カメラの設置で、子どもたちの安全がさらに高まってほしいです。



スクールガードリーダー 豊田義主さん

地域ぐるみで見守って



▲毎日の見守りで安全で安心な通学路に(清水小学校)

家庭教育

家庭の教育力を高めよう

現在の子育てや家庭の教育力を支える環境は、核家族化や共働き世帯の増加、近所付き合いの希薄化などにより大きく変化しています。家庭は子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点です。市では、保護者が安心して家庭教育を行えるよう、家庭の教育力をより高めるため、さまざまな支援を行っています。問い合わせは生涯学習政策課(☎620・7334、☎626・8554)へ。



家庭教育支援 Fika (フィーカ) キャラバン

家庭教育支援チーム「星とおひさまFika (フィーカ) キャラバン」による家庭教育支援ワークショップは、小学生や就学前のお子さんの保護者が参加し、子育てや家庭教育に関する悩みを共有できる場です。参加者同士のコミュニケーションを図り、子育てに対する心理的負担を軽減することをめざしています。話を聴くことで「悩みを抱えているのは自分だけではない」と安心して帰る方もいます。

今後も生涯学習センターを中心に、ワークショップの開催を予定しています。開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

日時	会場
5月19日(木) 午前10時～正午	生涯学習センター 南大沢分館
7月9日(土) 午前10時～正午	生涯学習センター 南大沢分館
9月29日(木) 午前10時～正午	生涯学習センター クリエイティブホール
11月26日(土) 午前10時～正午	生涯学習センター クリエイティブホール
1月28日(土) 午前10時～正午	川口市民センター



家庭教育支援チーム
星とおひさまFikaキャラバン
代表 金井直子さん

お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中でたくさんお話をしましょう。



▲子育ての悩みを打ち明けて

家庭での「やくそく」を決めよう

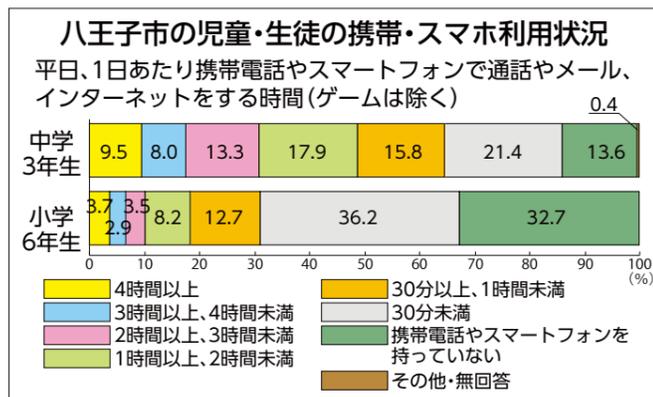
八王子市の家庭教育8か条

- 命の大切さを伝えよう**：お子さんが生まれた日が、家族にとってどんな日だったかを話してみましよう。
- 親子の会話を大切にしよう**：家族みんなで話す時間をつくりましよう。
- きちんといさつしよう**：家族で「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをましよう。
- よくない言動をきちんと叱ろう**：叱った理由を子どもにきちんと伝えましよう。
- よいところを見つけてほめよう**：一日一回以上子どもをほめましよう。
- 早寝・早起き 朝ごはんを励行しよう**：毎日決まった時間に寝起きして、朝ごはんを食べましよう。
- 家庭での役割を与えよう**：家族と一緒に家事をましよう。
- 何でも与えずにがまんを教えよう**：ゲームをする前にまず宿題を。テレビやゲームは時間を決めましよう。

自らつくる、守る SNSルール

子どもたちは、携帯電話やスマートフォン(以下、携帯・スマホ)だけでなく、身近な携帯型ゲーム機器などでもインターネットに接続することができ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などのコミュニティサイトを利用することができ、このような環境は、嫌がらせやいじめ、見知らぬ人となつながら可能性、犯罪に巻き込まれるおそれがあります。本市においても多くの子どもたちが携帯・スマホを利用しており、その使い方が課題となつています。

市立小・中学校では、教員の指導のもと、児童・生徒同士が話し合い、SNSの利用についてのルールづくりを進めています。南大沢中学校の生徒会では、生徒全員を対象に携帯・スマホの使用状況についてアンケートを実施。心身の健康への影響や学力の低下など、携帯・スマホの間違った使い方によって生じるさまざまな問題について事前に調査しました。これらの結果を踏まえ、生徒自身による「SNS南中ルール」を作成しました。



平成27年度全国学力・学習状況調査八王子市結果より

みんなてつくる、守る 自分たちのSNSルール



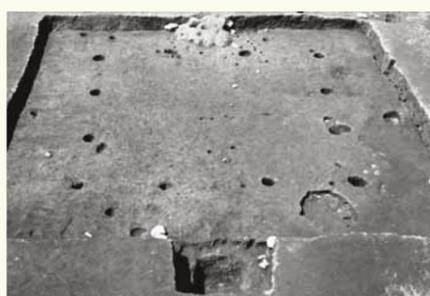
南大沢中学校生徒会
2年 高山 哉尋さん 3年 廣瀬 由奈さん

問い合わせ 指導課(☎620・7405、☎626・7881)へ

中田遺跡

知っておきたい八王子の歴史

昭和40年代の高度経済成長期、日本各地で自動車専用道路や住宅団地などが計画され、造られていきます。市内でも中央自動車道や都営住宅などが計画され、中野山王三丁目でも都営住宅建設の話が起りました。この場所は当時、地表に土器や石器などが落ちており、歴史を研究している人々から、遺跡があると考えられていました。建設の話は遺跡を破壊する可能性があることから、研究者によって保存運動が起こります。しかし、どのようなものが埋まっているかわからない状態で、その場所を保存することは難しいことから、昭和41年から42年までに発掘調査を実施。調査の結果、縄文



▲発掘当時の住居跡

時代中期から平安時代までの住居跡や土器・石器、鉄製品など、多くの遺構や遺物が見つかりました。なかでも、古墳時代後期(6〜7世紀)の住居跡70軒、奈良・平安時代(8〜9世紀)の住居跡49軒、合計120軒余りが確認され、古代の「ムラ」のようすがわかる発見となりました。これにより、中田遺跡は東国の「ムラ」を考えるモデルとなりました。

この遺跡を現状で保存したいという要望が市民や研究者などから上がり、昭和44年、大型の住居跡が複数見つかった地区を保存。発掘成果をもとに住居跡1軒を復元し、遺跡公園が完成しました。翌年、古墳時代の貴重な遺跡として、市の文化財に指定されます。

調査から50年経過した今、研究が進み、住居の構造が復元した住居と違う可能性があることや、老朽化などの理由で復元住居を撤去。住居跡は遺構表示として整備しました。

この機会に遺跡公園で当時の生活に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 文化財課(☎620・7265、☎626・4500)へ

教育委員会の動き

教育長の就任など

3月31日をもって退任した坂倉仁教育長の後任に安間英潮氏が4月1日に新たな教育長に就任しました。また、教育長職務代理者に和田孝委員が指名されました。



八王子市教育委員会
教育長 安間英潮

教育長就任のあゆみ

平成28年4月1日付で坂倉教育長のあとを引き継ぎまして教育長に就任いたしました安間英潮です。このたび、東京都初の中核市である八王子市の教育行政を任され、その重責に身の引き締まる思いです。

私は中学校教員を経て、八王子市の指導主事として教育行政に関わり、その後東京都教育委員会にて、子どもたちの基礎学力を向上させるための施策や教員の指導、育成に携ってまいりました。これまでの経験を活かし、子どもたちが八王子で育ってよかった、そして八王子に生まれてよかったと思えるよう、粉骨砕身努力してまいります。

将来の八王子を担う子どもたちが、多

教育委員会表彰

教育委員会表彰は社会的に評価される活動や優れた能力、努力をたたえ、周囲の模範として広く知らせるとともに、市民のスポーツや芸術文化の振興、ボランティアの奨励を目的としています。

3月に市役所で開催した「教育委員会表彰式典」では、多種多様な分野で活躍した子どもたちや義務教育9年間皆出席の生徒、長年ボランティアとして市の教育活動を支えている方々を表彰しました。今後も本市から、さまざまな舞台で活躍される方が誕生することを期待しています。

表彰者の氏名など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

表彰者一覧

区分	児童・生徒	一般
体育	68名 6団体	8名 1団体
文化	9名 4団体	1団体
ボランティア など	1名	51名 8団体
義務教育 皆出席	31名	-

5回の会議を開催

平成28年1月から3月まで定例会を5回開催しました。第三次特別支援教育推進計画についてなど、議案はすべて可決。定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

総合教育会議

会議の開催状況について

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、市長と教育委員会が地域の教育課題やあるべき姿の共有を図ることを目的に設置しています。平成27年度は会議を4回開催しました。会議録など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

平成27年度総合教育会議の議題など

開催日		主な議題
第1回	4月22日(水)	「八王子市総合教育大綱」について
第2回	6月3日(水)	「放課後児童健全育成事業」と「放課後の子どもの居場所づくり」の連携について
第3回	10月1日(木)	いじめ防止対策推進法に基づく八王子市の対応について
第4回	2月24日(水)	平成28年度当初予算(案)を基とした、子ども・教育関連事業について

問い合わせ 総合経営部経営計画第二課 ☎62007306、☎62759661

八王子市教育委員会学校教育政策課
☎042-620-7403 ☎042-627-8811
http://www.city.hachioji.tokyo.jp/ http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/ (モバイル版)



次号(87号)は平成28年7月15日に発行する予定です。

